

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 25 年 3 月 14 日 (2013.3.14)

【公開番号】特開 2011-160325 (P2011-160325A)
 【公開日】平成 23 年 8 月 18 日 (2011.8.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-033
 【出願番号】特願 2010-22091 (P2010-22091)
 【国際特許分類】

H 0 4 R 1/02 (2006.01)

H 0 4 R 1/40 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 R 1/02 1 0 2 Z

H 0 4 R 1/02 1 0 5 Z

H 0 4 R 1/02 1 0 8

H 0 4 R 1/40 3 2 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 1 月 30 日 (2013.1.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

上記目的を達成するために本発明の電子機器は、スピーカと、マイクと、スピーカ穴とマイク穴とが形成される外装部材とを備えた電子機器であって、前記スピーカおよび前記マイクを一体的に保持し、前記外装部材に固定されることで、保持した前記スピーカを前記スピーカ穴に整合して配置するとともに、保持した前記マイクを前記マイク穴に整合して配置する保持部材と、前記保持部材に形成され、前記保持部材が前記外装部材に固定される際に前記外装部材と密着して、前記マイクと前記マイク穴とを繋ぐ空間を前記外装部材の内側の他の空間から遮蔽する突条部と、前記保持部材が前記外装部材に固定される際に、前記スピーカと前記スピーカ穴とを繋ぐ空間を前記外装部材の内側の前記他の空間から遮蔽する弾性部材と、を有することを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スピーカと、マイクと、スピーカ穴とマイク穴とが形成される外装部材とを備えた電子機器であって、

前記スピーカおよび前記マイクを一体的に保持し、前記外装部材に固定されることで、保持した前記スピーカを前記スピーカ穴に整合して配置するとともに、保持した前記マイクを前記マイク穴に整合して配置する保持部材と、

前記保持部材に形成され、前記保持部材が前記外装部材に固定される際に前記外装部材と密着して、前記マイクと前記マイク穴とを繋ぐ空間を前記外装部材の内側の他の空間から遮蔽する突条部と、

前記保持部材が前記外装部材に固定される際に、前記スピーカと前記スピーカ穴とを繋

ぐ空間を前記外装部材の内側の前記他の空間から遮蔽する弾性部材と、
を有することを特徴とする電子機器。

【請求項 2】

前記突条部は 2 重突条部に構成され、前記保持部材が前記外装部材に固定される際に、
前記 2 重突条部に形成される溝に、前記外装部材の内側面に突設された突設部が嵌合する
ことを特徴とする請求項 1 記載の電子機器。

【請求項 3】

前記保持部材と前記弾性部材とは硬さが異なることを特徴とする請求項 1 または 2 記載
の電子機器。

【請求項 4】

前記スピーカ穴と前記マイク穴とは、前記外装部材の同一面に隣接して形成され、前記
スピーカと前記マイクとは隣接して配設されていることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のい
ずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 5】

前記マイクは 2 つ設けられ、これら 2 つの前記マイクが前記スピーカの両側に配設され
ていることを特徴とする請求項 4 記載の電子機器。